



第 1749 回例会

平成 25 年 6 月 10 日 (月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 32 名
出席率 60.38% 前回修正出席率 69.81%

4. 会長スピーチ



会長 花田 宗弘 君

今日は、先日来行われて来ました IDM の発表をして頂く日です。テーマの一つに挙げさせて頂きましたロータリー財団の補助金を申請する件につき、補足説明をさせて頂きます。

先日、行われました地区協議会の分科会にて地区財団大森委員長より詳細

説明がありました。既に御存じの様に、次年度よりロータリー財団のプログラムが大きく変わります。従来実施されてきた財団奨学生、GSE (研究グループ交換) のプログラムが無くなり、新しく地区補助金とグローバル補助金等に移行されます。地区補助金のクラブへの補助額は 3 年前当クラブが財団に寄付した一人当たりの平均額に 10 倍した額の 80%、計算すると約 10 万円となります。一方、グローバル補助金は 1 件 300 万円以上の大きなプロジェクトで 1 クラブだけでは荷が大きすぎます。地区補助金は IDM で話し合って頂いたテーマの中から選ぶとして、グローバル補助金の方は次年度の理事会で承認を得た上で他のクラブにも呼び掛け提案してみてはどうかと思います。

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦 RC 6 月 27 日 (木) → 6 月 30 日 (日)
18:00～ 新宮ユアアイホテル
(家族親睦会)

6. 委員会報告

○広報雑誌委員会

委員長 宮田 敬之佑 君

「ロータリーの友」6 月号

未来のロータリーのために、2013 年規程審議会リポートなど是非、読んでください。ロータリーの友の感想文の未提出の方は提出してください。

7. IDM 報告

○ IDM について

副会長 阪口 洋一 君

皆さん今日は。ロータリー報規定委員会にお世話していただいて開催されている IDM について少しお話させていただきたいと思います。従来 IDM で皆様からの貴重なご意見は、例会において発表されますがその後は、そのままになっているのが現状です。前回の理事会において IDM での皆様のご意見をクラブ運営に反映しようということにいたしました。理事会において明確に結論を出せる議題と出しづらいものがありますが、前回 2 月に行われました IDM において皆さまからいただいたご意見を次のように纏めさせていただきました。

① 楽しい例会作りについて

この議題は結論を出すと言うより、ご意見を吟味し今後の例会運営に反映させていただくと言うことになります。

② 例会出席の服装について

会員ご自身がロータリアンとしての自覚をお持ちになり、それにふさわしい服装をしていただくと言うことになります。

③ 新入会員の例会時の席について

基本的には会員がどの席に座るのも自由ですが、新入会員の方がどの席に座っていいのかと、迷われることがあると思います。そのため、ゲスト席に近い席に名札を置いて着席していただくことが良いと考えました。先輩会員が新入会員にいろいろお話をし、孤立させないで例会を楽しんでいただくよう努力することが大事だと考えます。

④ 会員増強・退会防止について

この議題は IDM において何度も議論されているものです。この議題につきましても、皆様のいろいろなご意見を会員増強・退会防止に反映させていただくこ

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
- ② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

とということとなります。

⑤その他

新入会員の方に名前を覚えてもらうために名札の利用を再認識してはどうか。胸に付けるなり、テーブルに置くなりしたら。というご意見をいただきました。これは是非実行していただきたいと思います。今年度もあと少しとなりましたのでたいしたことは出来ませんが、出来るならば次年度も引き続きお願ひしたいと思います。

○1組

発表者 木地 義和 君

5月17日に割烹「美登利」で開きました。リーダーは上中嗣郎君で、出席者は9名でした。



①奉仕活動プロジェクトについては、身体障害者支援等を申請する、詳しい内容については花田さんに一任。②ロータリークラブ（海南東）への要望は、女性会員を増やせ。クラブ等のイベントへの参加者が少ない多数の参加を望む③ロータリーに入会して良かったことは、友人が増えた。奉仕の精神がついた。ロータリーに入会してからは、夫婦円満になった。商売が繁盛した。

○2組

発表者 山東 剛一 君

5月23日に「うたげ」で開きました。出席者は7名です。



①のテーマは、いろいろ話し合いましたが、結局今継続中のフィリピンの事業とタンポポの会の事業の内容を一層充実させて継続していくことが重要なことであり、その方向に沿っていく理事会の決定事項に協力していく。このテーマを通してこのテーマで考えさせていただいたことに感謝したい。②③④は、ロータリーに入会して友人が増えたこと。奉仕の精神が増したこと。視野が広がったこと等が各自から出ました。こんな話題で、楽しいIDMをもつことができました。

○3組

発表者 三木 正博 君

5月31日に「美登利」で開きました。出席者は10名でした。



1. 要望として、女性会員を増強してみては？ 2. 家族旅行について出来る範囲で奥様方の意見ももっと取り入れて決めては？ 奥様方の当会に参加願って女性の意見も伺って参考にして見ては。3. 地区の活動にもっと参加して和歌山のクラブ同志のお付合を活発にしてみては。4. 地区活動に就いていろいろな活動する為にもっと補助金を出してもらう様に申請してみてはどうか？ 5. Eクラブについて、2640地区の現状はどうか。もっとくわしく説明をしてもらう。

6. クラブ例会について一旦那様欠席のときは代りに奥様に参加して女性の意見ももっと取り入れたらどうか。7. 奉仕活動のプロジェクトにいろんな処のいろいろの人の（当クラブ以外の）一般の方方の参加願って当クラブの活動 etc 知ってもらって協力を賜つては如何なものか。8. 旧WCSの継続－台湾友好ク

ラブ、フィリピンの奉仕活動 etc について。9. ローターアクト休眠状態一次年度に復活しては。10. 夫婦のIDMももっと開いて見たらどうか？ 最近やっていない様だが？

○4組

発表者 那須 正志 君

5月27日に「うたげ」で開きました。出席者8名でした。



①奉仕活動については、クラブに対してどれだけの奉仕が出来るか。もっとニコニコ金を集めよう。財団の話についていろいろな話を聞く中でうちの組では出来るだけその話はしたくないと言う事でした。奉仕活動プロジェクトについて、昔は毎年同じ事の繰り返しは禁止。常に新しいことに取り組む、しかし今は前年の文章を見てそれに従っている様な気がする。国際奉仕に付いては毎年同じ様につづいて行くべきだと思います。

②③RC海南東への要望は、RCに入会して良かった事をまとめて同時に話し合いました。入会して良かった事では、月並みですが、友達に恵まれた。視野が広くなった。入っているだけで得する部分がある。もっとクラブを利用するようにしよう。もっと良い事がある。昔は凄く厳しかった（色々な面で）。それから会議中の私語が、ずいぶん少なくなった。これからもゲスト招待の時には十分に注意しよう。ノーネクタイになってから少しだらけて来た様な気がする。最後にしっかりマークUPして他クラブの良い所、悪い所しっかり見させてもらおう。これがうちの組のミーティングIDMでした。大先輩方の話を色々聞かせて頂き非常に中身のあるIDMがありました。

○5組

発表者 岩井 克次 君



5月21日に「田中屋」で開きました。出席者は9名でした。①「地区補助金の申請」地区の審査が通るかどうか分かりませんが、申請はしてみたいと思います。我々が毎年ロータリー財団にUS\$100～200/人を寄付

しています。この基金が3年間ロータリー財団本部（USA）に据え置かれ、3年後にその50%が地区に返ってきます。そのまた50%、すなわち25%が自由に使えるお金です。我が地区は3年前に約US\$400,000の寄付金がありその25%US\$100,000（¥10,000,000）が奉仕活動に使える資金となります。各クラブは奉仕活動のテーマを決め地区に申請できます。プロジェクトの総額の20%は自己資金が必要ですので、総額を100万円と想定してテーマを考えたいと思います。プロジェクトの内容はロータリー財団の使命に合ったものでなければなりません。ロータリー財団の使命とはロータリーにふさわしいもので、下記の様なプロジェクトが考えられます。国内、海外共に可能です。

*人道的プロジェクト（人々の生活の向上に役立てるもの）

貧民層の生活改善

子育て支援

不登校、いじめ問題対策

身体障害者支援
健康増進
老齢者支援等
*教育的プロジェクト
奨学金援助
文化交流
職業訓練
教育資材援助等

*ロータリアンの積極的な参加が必要です。

地区補助金 20万
(グローバル補助金・自己資金なし)

希望プロジェクト
・和歌山ダルクの援助
・フィリピン山の学校、給水事業

②ロータリークラブへの要望では、2640 地区の正常化。クラブの方針と対処方法を確立すべき。若い人を増加してほしい。このほか、クラブの同好会の充実などです。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1750 回例会 25 年 6 月 17 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

次年度 委員会別例会



ニコニコ・BOX

田村 健治君

昨日、ゴルフ同好会の 8〇会で、良きパートナーに恵まれ、幸運にも優勝しました。ありがとうございました。

小椋 孝一君

昨日、8〇会幹事さん、ご苦労様。次期の幹事に当たりました。

桑添 剛君

8〇会、魚谷幹事さん。大変お疲れ様でした。おかげで楽しい2日間でした。

深谷 政男君

楽しかった8〇会、幹事様お世話になりました。ありがとうございました。



国際ロータリー ニュース

自分自身から始まる平和を語り合った 広島平和フォーラム

5月 17 日、広島で開催されたロータリー世界平和フォーラムにあわせ、田中作次 RI 会長は、ロータリーや地元のリーダーと共に平和記念公演を訪れ、第二次世界大戦中に投下された原子爆弾によって命を落とした人々の慰靈碑に献花しました。その後会長は、広島平和資料館を訪問し、多くの世界のリーダーが名前を記してきたゲストブックに記帳しました。

日本人である田中会長(八潮ロータリークラブ会員所属)にとって、「平和」は重要な意味を持ちます。2012-13 年度の RI テーマを「奉仕を通じて平和を」とした会長は、ロータリアンや一般の人々、特に若い人たちが日常の生活を通じて平和を見つめる機会を提供するため、3 回の平和フォーラムを主催しました。

広島平和フォーラムには、ロータリアン、地域のリーダー、学生やロータリー平和センター・プログラム

(平和構築者を育成するためのプログラム) 学友など、2,700 人以上が参加しました。また、湯崎英彦広島県知事と松井一實広島市長もパネル・ディスカッションに参加しました。

今回の広島フォーラムの前には、ベルリン(ドイツ)とホノルル(米国、ハワイ州)でも平和フォーラムが開催されました。いずれも、第二次世界大戦で甚大な被害を受けながら、現在は持続可能な平和の象徴となっていることから、平和フォーラムの開催地として選ばれました。

田中会長は、フォーラムの閉会の辞で次のように述べました。「一つひとつのロータリーのプロジェクト、一つひとつの奉仕が、愛と思いやりを育みます。適切な方法で、正しい理由のために奉仕すれば、平和と調和の中で、人々が一体となれるはずです」

行動への呼びかけ

フォーラムの参加者は、「平和はあなたから始まる」のコンセプトを下にした平和宣言を採択しました。こ



写真上:5月17日、第3回目のロータリー世界平和フォーラムにあわせ、広島平和公園で献花を行ったルイス・ジアイ元RI会長(左)、田中作次RI会長(中央)、ウイルフレッド・ウイルキンソン財团管理委員長(右)。ジアイ元会長は、フォーラムの委員長を務めました。写真下:献花を行う田中作次RI会長(右)とウイルフレッド・ウイルキンソン財团管理委員長(左)。写真提供:二神典子(「ロータリーの友」誌)



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

の宣言は、日常生活における人々との調和や、国籍、政治、宗教、文化の隔たりを超えた友情を生み出すために、一人ひとりに行動を呼びかけるものです。フォーラムの結びに田中会長は、「今日、最後となるロータリー平和フォーラムを後にする皆さんには、『平和』をどう定義するにせよ、それがロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解いただきたいと思います。平和は、政府間の協定や闘争だけで実現するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものでもあります」と述べました。

李東建ロータリー財団管理委員長エレクトは、韓国と日本の友好関係においてロータリーが果たす役割について講演し、隣国同士が協力しあいながら平和を達成することの重要性を強調しました。また、日韓のロータリアンが毎年参加する「日韓親善会議」について触れ、このような親睦により両国間の平和という夢が実現されると述べました。

同じく閉会式でスピーチしたゲイリー・ホアン会長ノミニーは、「己の欲せざる事人に施す事なかれ」という文化や宗教を超えた概念を紹介した上で、ロータリアンは、超我の奉仕と平和の礎を築くことでこれを実践していると述べました。また、「私たちは、地域社会で平和を築きながら、世界の平和を実現する。友情そして互いを受け容れる心を養うことで、世界平和を築いている」と語りました。

日本のロータリー

日本のロータリーは、1920 年に結成された東京ロータリークラブに始まり、その後、大阪や京都、横浜などで次々とクラブが誕生しました。今日では、88,000 人のロータリアン、2,285 のクラブにまで発展しました。2011 年 3 月、東日本大震災が発生し、甚大な被害がもたらされました。世界中のロータリアンから多くの援助が寄せられ、災害復興基金には 780 万米ドルの義援金が集まりました。

ロータリーは長年、平和に力を注いきました。会員は草の根レベルで、飢餓、貧困、非識字など、紛争や暴力の原因となる問題に取り組んできました。また、10 年前、グローバルな舞台で活躍できる平和構築者の育成を目指し、「ロータリー平和センター・プログラム」を開始しました。

2002 年に始まったこのプログラムでは、毎年 110 名のフェローが世界各地の大学に設置されているロータリー平和センターで、修士号または専門能力開発修了証の取得を目指し研究に励んでいます。平和センターの一つが設置されている国際基督教大学（東京）からは、これまで 70 名のフェローが卒業しており、現在は 21 名が在籍しています。また、日本出身のフェロー 25 名が、海外のロータリー平和センターに留学しました。

6月はロータリー親睦活動月間です

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター



ロータリー平和フェローは、生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外での協力、平和、紛争解決を推進するリーダーです。フェローは、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめとする分野の修士号を取得、あるいは平和と紛争解決の分野における専門能力開発プログラムの修了証を取得することができます。

プログラムの参加者

毎年、最高 110 名が選出されるロータリー世界平和フェローの内訳は、修士号取得プログラム対象者 60 名までと専門能力開発修了証プログラム対象者 50 名までとなっています。フェローは、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめ、これらに関連する分野の修士号を取得するか、平和と紛争解決の分野における専門能力開発プログラムの修了証を取得します。

卒業後の世界平和フェローは、生涯にわたり、仕事や奉仕活動を通じて国内および国際間の協力、平和、紛争解決の推進に貢献する指導者となることが期待されています。元フェローの進路は多岐にわたり、草の根で活動する地元の非政府組織、各国政府、軍隊、警察をはじめ、国連、世界銀行、国際移住機関、米州機構といった二カ国間組織や国際組織でも活躍しています。平和構築に専念する元フェローたちの世界的ネットワークは発展の一途をたどっており、本プログラムの卒業生はこのネットワークのサポートを享受しています。

プログラムの推進

ロータリー地区は、広報活動を通じて平和フェローとなるにふさわしい候補者を募集するよう奨励されています。学業、ボランティア活動、職業を通じて平和と紛争解決に専心し、優れた指導力と優秀な学業成績を示している候補者を探し出すことが大切です。詳細は「ロータリー平和センター ロータリアンのためのプログラムの手引き」(PDF) をダウンロードしてご覧ください。オンラインショップ、shop.rotary.org では、パンフレットや DVD などの推進用資料を入手することができます。センター関連資料は、同オンラインショップで「Rotary Peace Centers」と検索してください。一度に 99 部までご注文いただけます。ウェブサイトで、ロータリーの名称と徽章を使用する際の指針に従ったロータリー平和センターのロゴの正しい使い方を調べたり、ロゴをダウンロードすることもできます。また、月刊ニュースレター「Peacenet」を定期受信すると、平和センターの最新ニュースが自動的に届けられます。